

各高等学校長 殿

山形県高等学校体育連盟  
柔道専門部長 山内 励  
(公印省略)

## 第53回山形県高等学校新人柔道大会の開催について

日頃より県高体連柔道部にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。  
さて、標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますので、貴校生徒の参加についてよろしく  
お願い致します。

## 記

- 1 主 催 山形県高等学校体育連盟 山形県教育委員会 (公財)山形県体育協会
- 2 共 催 新庄市 新庄市教育委員会
- 3 主 管 山形県高等学校体育連盟柔道専門部 最北地区高等学校体育連盟  
山形県柔道連盟 最上地区柔道連盟 北村山地区柔道連盟 新庄市柔道連盟
- 4 期 日 平成24年11月3日(土) 審判監督会議 10時30分  
計 量 10時～11時 (男女個人選手)  
開 会 式 11時30分～ 競技開始(男女団体試合)  
11月4日(日) 審判員打合せ 8時45分  
競技開始 9時00分～(男女個人試合)～閉会式
- 5 会 場 山形県立新庄神室産業高等学校 体育館
- 6 競技規則
  - (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定による。
  - (2) 「優勢勝ち」の判定基準
    - ア 団体試合は「有効」または「指導2回」以上とする。
    - イ 団体試合の代表戦及び個人試合において、得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)によって勝敗を決する。
  - (3) 個人試合において「同時反則負け」の場合、次の試合の出場者は、延長戦(ゴールデンスコア)によって決める。
  - (4) 試合時間は団体、個人とも、4分とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、2分とする。
  - (5) 柔道衣のコントロールは各自の責任で行う。試合中に違反が発覚した場合は、「反則負け」となる。
- 7 競技方法
  - (1) 男子団体試合
    - ① 試合はトーナメント法で実施する。
    - ② 3位チーム同士でシード順位決定戦を行う。
    - ③ チームの勝敗の決定は次による。
      - ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - ウ イで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - エ ウで同等の場合は、代表戦を行い決める。
  - (2) 男子個人試合
    - ① 体重別試合とし、トーナメント法で実施する。
    - ② 1位、2位が強化指定選手となる。
  - (3) 女子団体試合
    - ① 試合はトーナメント法で実施する。
    - ② 3位チーム同士でシード順位決定戦を行う。
    - ③ チームの勝敗の決定は、男子と同じとする。
  - (4) 女子個人試合
    - ① 体重別試合とし、トーナメント法で実施する。
    - ② 1位、2位が強化指定選手となる。

## 8 参加資格

- (1) 本連盟に加盟していること。ただし、「転校後6ヶ月未満の者」は出場できない。
- (2) 県高体連柔道部及び全柔連に登録されている学校の1, 2年生(定時制3年生以下)で、地区予選を経て、各地区理事の推薦を受けた者。
- (3) 全日制、定時制、通信制の混合チームの出場は認めない。
- (4) 同学年での出場は、1回限りとする。
- (5) 選手は学校長の責任において参加させ、特に支障のある者は参加させない。

## 9 参加制限

### (1) 男子団体試合

- ① オープン参加とし、各校1チームとする。チームの人員は監督1名、選手7名、マネージャー1名の計9名をもって編成する。
- ② 試合は5人戦とする。尚、選手の変更は1名までとする。

### (2) 男子個人試合

- ① 体重別試合とし次の7階級とする。  
60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級
- ② 選手は各地区予選を経た者で、地区出場数は、村山地区57名、置賜地区30名、最北地区27名、田川地区24名、飽海地区12名、計150名の他、指定選手7名を加え157名とする。

\*指定選手：高谷英司(新東2)・佐藤佑樹(東海2)・阿部稔彦(東海2)

+田中中大(山工2)・橋谷田雄登(山工2)・佐々木優太(羽黒1) 鈴木武蔵(東海1)

- ③ 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

### (3) 女子団体試合

- ① オープン参加とし、各校1チームとする。チームの人員は監督1名、選手5名、マネージャー1名の計7名をもって編成する。
- ② 試合は3人戦とする。尚、選手の変更は1名までとする。

### (4) 女子個人試合

- ① 体重別試合とし次の7階級とする。  
48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級
- ② 選手は各地区予選を経た者で、地区出場数は、村山地区36名、置賜地区6名、最北地区9名、田川地区18名、飽海地区1名、計70名の他、指定選手7名を加え77名とする。

\*指定選手：須藤美希(山中2)・門脇豊華(羽黒2)・斎藤桃(羽黒2) 海野美里(山中2)

佐藤由起(羽黒2) + 鈴木淳美(山中1)・山田茅里(山中2)

- ③ 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

### (5) 脳震盪の対応について

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

## 10 参加申込

- (1) 別紙申込用紙に記入のうえ、参加料を添えて、9月21日(金)必着で下記宛申し込むこと。

〒996-0051 新庄市松本596

新庄東高等学校 安食秀利 TEL: 0233-22-1562

- (2) 宿泊申込について、別紙申込用紙に記入のうえ、(1)と同様に申し込むこと。

## 11 参加料

- ・男子団体1チーム 3,000円
- ・女子団体1チーム 2,000円
- ・男女団体試合出場者以外の個人1人 400円

## 12 組合せ

### (1) 団体試合

- ① 男子は県大会ベスト4、各地区1位の順にシードする。
- ② 女子は県大会1・2位、各地区1位の順にシードする。
- ③ 同地区が各グループにベスト4等、バランスよく入るように組み合わせる。

### (2) 個人試合

- ① 強化指定選手、地区1位の順にシードする。
- ② 同一校から2名以上出場の場合は、決勝又は準決勝まで対戦しないように配慮する。
- ③ 同地区が各グループにベスト4等、可能な限りバランスよく入るように組み合わせる。

- (3) 組合せ抽選日 平成24年9月26日(水) 於 羽黒高校 体育館

### 1.3 連絡事項

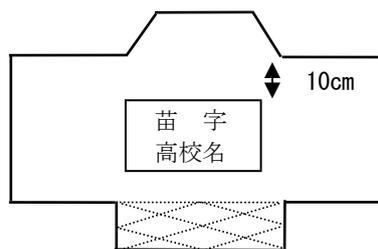
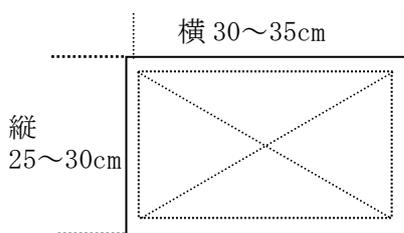
- (1) オーダー及び選手の変更については、届出用紙を用いて監督会議開始までに、事務局に提出すること。
- (2) 男女団体試合の監督は、模造紙縦1/4 (27cm) にて、右より縦書き (巾約 13cm) 学校名、大将、副将の順 (女子は副将、次鋒をあける) に選手名を記入し、角封筒に入れて提出すること。
- (3) 個人戦に申し込んだ者が出場できなくなった場合は、制限人数内において地区予選を経ている者が地区理事の推薦で代わることが出来る。この場合、監督会議前まで申し出ること。
- (4) 団体チーム及び個人の監督は、男女が同一にならないようにすること。

### 1.4 その他

- 本大会の個人試合で、各階級決勝戦に進んだ者は、強化指定選手とする。
- この大会は、国体選手選考の参考資料となる。
- 計量にパスしない者、ゼッケンのついていない者は出場の資格を失う。
- ゼッケンについて

(図1) ゼッケンの縫い付け方

(図2) ゼッケンの位置



- ①布地は晒太綾 (さらしふとあや) を使用する。
- ②図2の位置に、図1の点線の部分を強い糸で縫い付ける。(縦横ならびに対角線)
- ③苗字 (姓) は、上側2/3 学校名は下側1/3とする。
- ④書体は太いゴシック体 (楷書) で、男子は黒字、女子は赤字で書く。
- ⑤サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。(新规定)
- \*新しく作られていない場合は、旧規定のものでもよい。

- 女子選手の黒帯は、白線入りのものを使用すること。
- 女子のTシャツは無地白色です。ワンポイントのマークは規程違反になるので注意して下さい。

## 県新人大会

### 団体試合オーダー用紙

男子・女子 <どちらか○で囲む>

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	学校名	監督名



## 県新人大会 個人試合 参加申込書

男子・女子 <どちらか○で囲む>

チーム名			学校登録番号 06	監督名		
区分	地区 順位	選手名	学年	段位	体重	全柔連個人登録番号下7桁
男 100kg 超級						
女 78kg 超級						
男 100kg 級						
女 78kg 級						
男 90kg 級						
女 70kg 級						
男 81kg 級						
女 63kg 級						
男 73kg 級						
女 57kg 級						
男 66kg 級						
女 52kg 級						
男 60kg 級						
女 48kg 級						

上記の者の出場を認知する。

平成 年 月 日

高等学校長

印

